

けやき倶楽部 第2回講演会報告書

[テーマ] 令和に続く古代文学の世界

[講師] 京都大学名誉教授 松本孝芳先生

千葉大学大学院人文科学研究院准教授 兼岡理恵先生

[日時] 2019年9月26日(木) 13:30~17:00

[場所] 千葉大学人文社会科学系総合研究棟2階マルチメディア会議室

[参加者] 79名

[講演要旨]

1. 古代文学の表現（万葉集、風土記の植物記事を中心に）・・・兼岡先生

(1) 万葉集に詠まれる植物ベスト3の萩・梅（白梅）・ぬばたまの内、梅（梅、烏梅、宇米）と萩（芽、芽子）を取り上げ、詠み込まれている歌、数首の紹介があった。

- ・新元号「令和」の出典となった梅花の宴とそのオリジナリティについて
- ・大伴旅人と梅－3首、梅の香－2首
- ・秋の七草の萩－2首、大伴旅人と萩－1首、萩と鹿、萩と蝸（秋の景）－2首

(2) 風土記の植物

風土記は各国から朝廷に提出された報告書で、記入すべき5項目の中に「土地の産物」があり、主に薬草系の草木が記されている。次の三国の風土記が例としてあげられた。

- ・常陸国－香島郡沼尾池の蓮根、出雲国－仁多郡の湿地の米、播磨国－揖保郡萩原の里の萩
- また、当けやき倶楽部にちなんで槻（ケヤキ）について万葉集と風土記から紹介がありました。

2. 古事記のフローラ（神話の中の植物たち）・・・松本先生

松本先生著書「古事記のフローラ」の中より「天地の始まり」から「オホクニヌシの神の国譲り」までの章について人と植物との関わり合いについて詳しく講演していただいた。

(1) 天地の始まりから天の石屋戸

天地の始まり－葦、大八島国誕生－カヤ、クス、黄泉の国－エビズル、桃、タケノコ、イザナギノ命神産み－橘、アオキ、天の石屋戸－サカキ、麻、コウゾ等

(2) スサノヲノ命からオオクニヌシノ神の国譲り

五穀の誕生、八咫のワロチーヒノキ、スギ等、稲羽の素兎－蒲、根の堅州国－ムク、ヌナカワヒメ・スセリビメーススキ、ヌバタマ、ヒヒラギ等、オオクニヌシノ神の国譲り－カツラ、ハジ等

以上。



兼岡先生



松本先生



熱心に聴く会員の皆さん

(文責：千葉茂樹)